



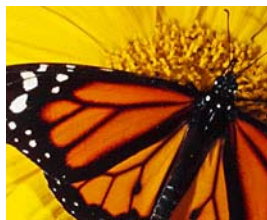
地球の生命力を
高めよう 2010



人の暮らしとともに、この海を守る

—WWFが考えるマグロと環境の問題—

WWFジャパン
海洋プログラム
水産プロジェクト担当
山内 愛子
2010年8月3日





地球の生命力を
高めよう 2010



話を始める前に……

「サステイナブル」

持続可能であるさま。特に、**地球環境を保全しつつ持続が可能な産業**や開発などについていう。

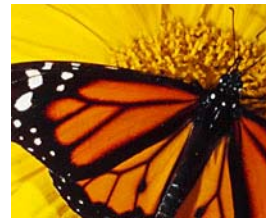
「持続」

ある状態がそのまま続くこと。また、保ち続けること。継続。

「文化」

民族や社会の風習・伝統・思考方法・価値観などの総称で、**世代を通じて傳承されていくもの**を意味する。

大辞泉より





地球の生命力を
高めよう 2010



WWFの使命

地球の自然環境の悪化を食い止め、人類が自然と調和して生きる未来を築くためには、何が必要？

WWFの3つの使命

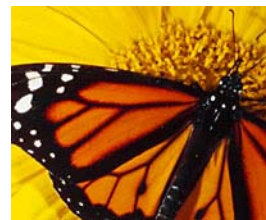
世界の生物多様性を守る

再生可能な自然資源の持続可能な利用が確実に行なわれるようにする

環境汚染と浪費的な消費の削減を進める

基本方針

- 共通の理念のもと、世界各地で多様なプロジェクトを展開
- 開発や経済活動に対する拒絶や反対ではなく、対話や提言を重視
- フィールドと政策の両面を重視した、未来志向の取り組み
- 多様な文化と科学的情報を尊重し、多彩なステークホルダーと協力





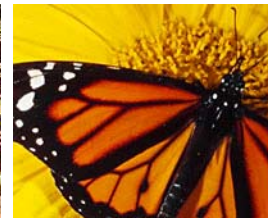
地球の生命力を
高めよう 2010



地球の生物多様性を脅かす主な原因

原因	生息地の 改変	地球温暖化	外来生物	過剰な 資源利用	汚染
代表的景観					
熱帯林	↑	↑	↑	↗	↑
淡水域	↑	↑	↑	→	↑
海洋	↑	↑	→	↗	↑
極地	↗	↑	→	↗	↑
20世紀中の悪影響	弱い	ほどほど	強い	非常に強い	
現在の影響の傾向	そのまま	増加	急増		

海洋：過剰な資源利用→悪影響は非常に強く、増加傾向





地球の生命力を
高めよう 2010

現代の消費とその環境への影響

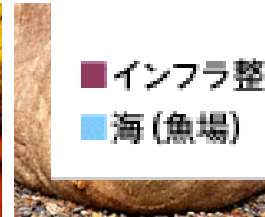
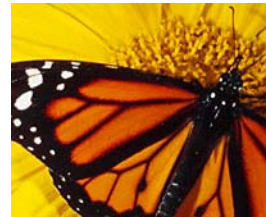
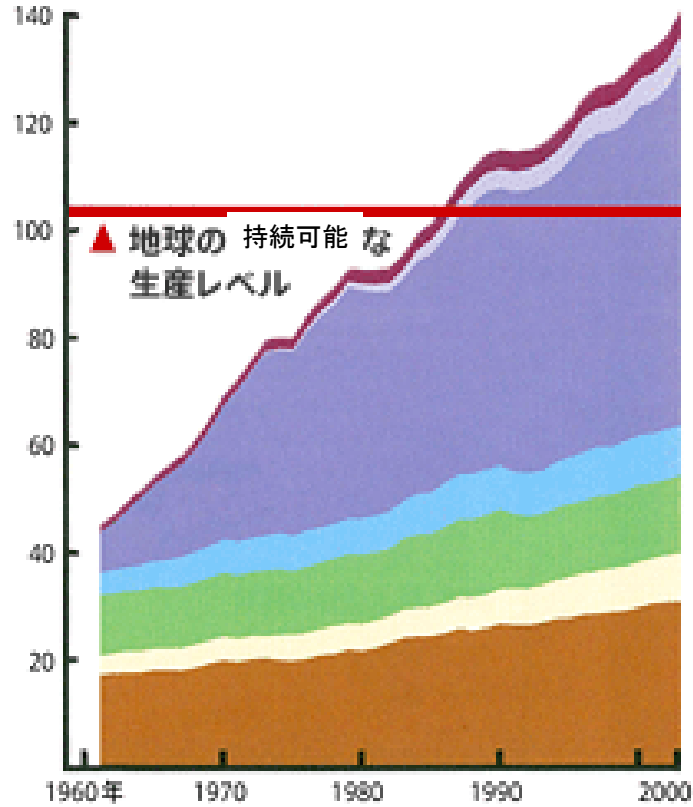
エコロジカル・フットプリント(人間の足跡)

▶さまざまな資源の消費量を基に牧畜や農耕に使われている土地の広さを計算し、面積単位で示したもの

1980年代の半ばに地球1個分の生物生産力（および二酸化炭素の吸収力）のラインを超え、2005年の時点でおおよそ1.3の数値を示している現在オーバーしている地球0.3個分の消費分→森や海などでの乱獲や、大量の二酸化炭素を排出することで、未来から先借りしてしまっている、ということ

▶2050年までに、全ての人々がより安全で、持続可能な社会で生活するようになること

エコロジカル・フットプリント



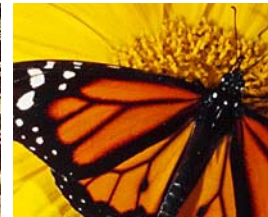
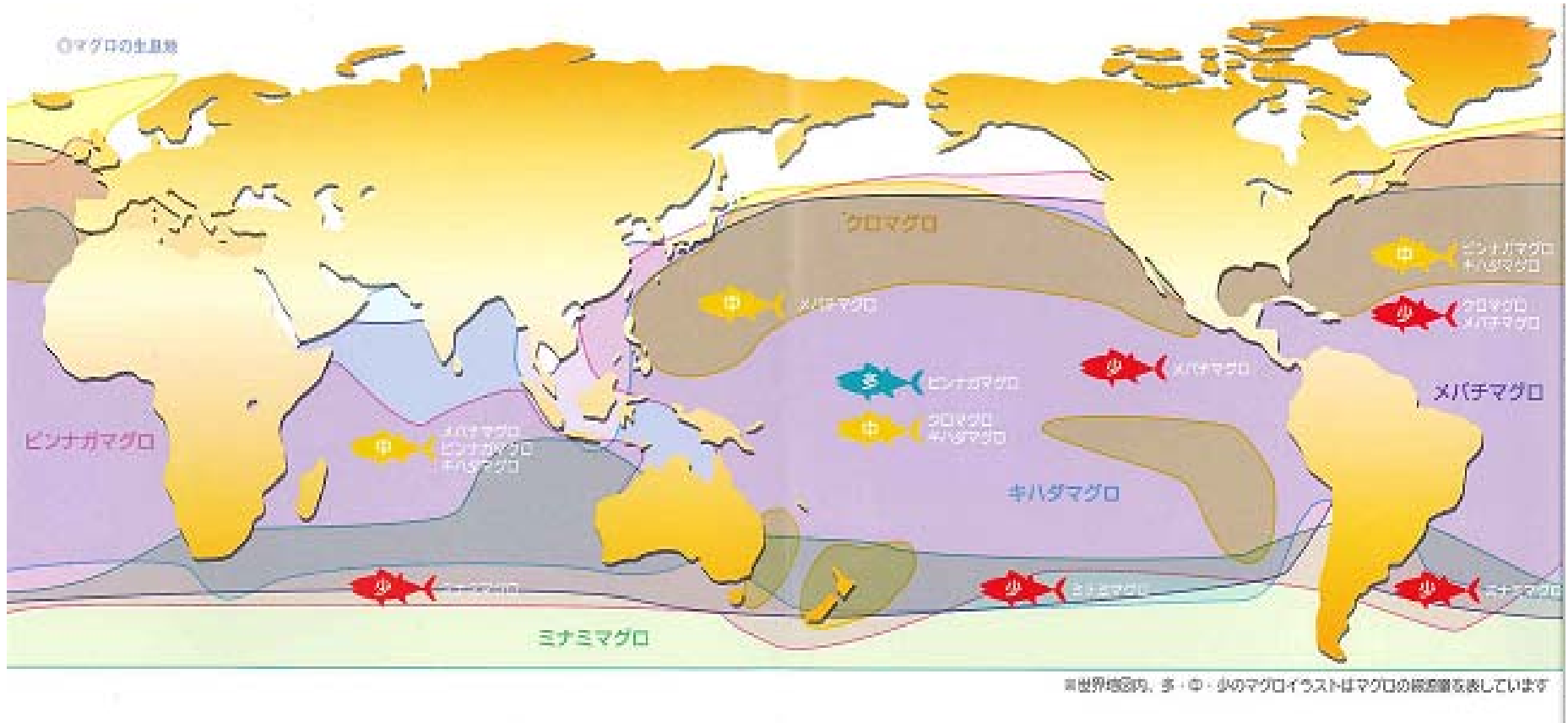
■ インフラ整備 ■ 原子力 ■ 二酸化炭素
■ 海(魚場) ■ 森林 ■ 牧草地 ■ 農耕地



地球の生命力を
高めよう 2010



なぜマグロ問題にWWFが取り組むのか？





地球の生命力を
高めよう 2010

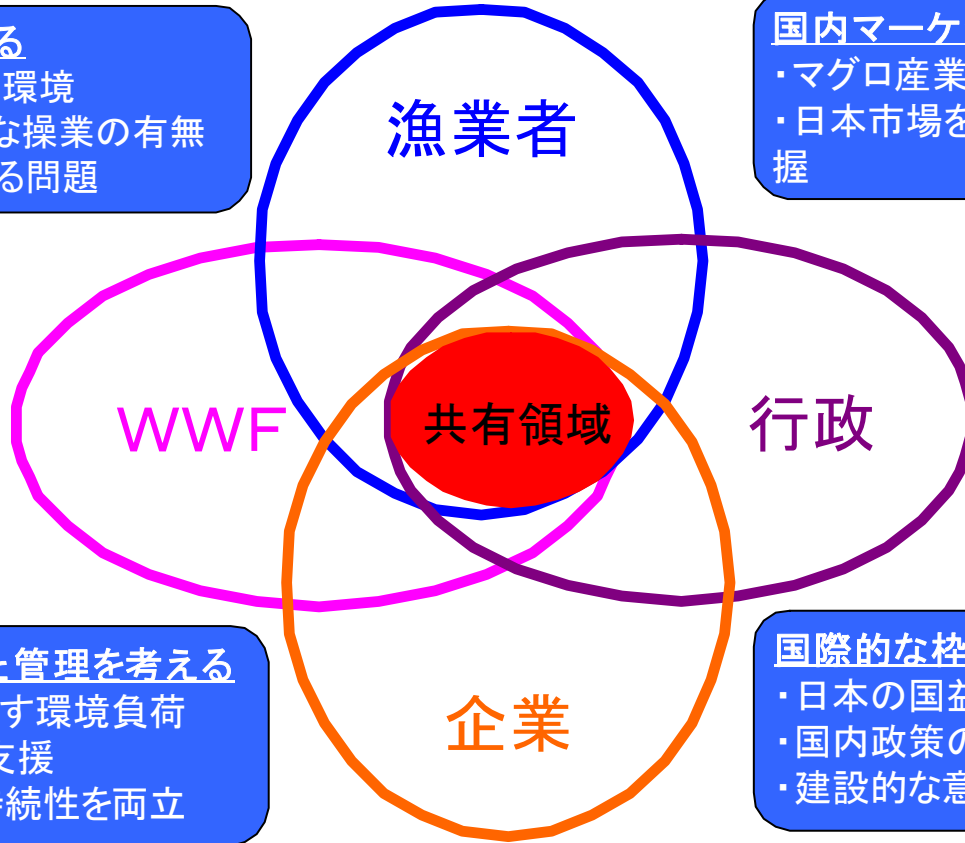
WWFジャパン: マグロに関するプロジェクト

マグロ漁業の実態を知る

- ・海洋生態系を含む漁場環境
- ・違法、無報告、無秩序な操業の有無
- ・その他現場で起きている問題

国内市場の実態を知る

- ・マグロ産業に関連する企業との対話
- ・日本市場を中心に見た世界の動向把握



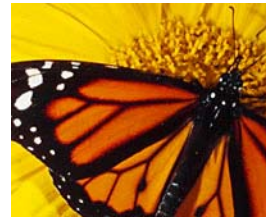
海洋生態系に配慮した管理を考える

- ・マグロ漁業が引き起こす環境負荷
- ・解決策の検討と導入支援
- ・マグロ資源と生活の持続性を両立

国際的な枠組みの確立を働きかける

- ・日本の国益は何か
- ・国内政策の方針を理解
- ・建設的な意見交換と提言

共有領域: 持続可能なマグロ資源の利用と消費





地球の生命力を
高めよう 2010



日本国内でのマグロ・カツオをめぐる企業動向

大手輸入商社A:「大西洋クロマグロに関する声明」

「当社は地中海に於けるクロマグロの資源が過剰漁獲の状況にあると認識しており、全ての関係者と共にクロマグロ資源の保全に積極的に取組んで参ります。当社の最終目標は、環境に配慮し、持続可能な方法で漁獲されたクロマグロのみを取扱う事です。」

食材宅配企業B

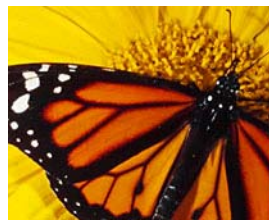
「…品種により、遠洋漁業の水産物を取り扱う場合も、安全性や漁獲方法などを詳細に確かめたうえで、国際的な水産資源管理の方針に従って収穫した水産物だけを取り扱います。国際的なルールを無視した乱獲漁業によって水揚げされたものは取り扱いません。」

→水産物原産地証明 (マグロ:漁獲水域、漁獲方法、漁獲時期、漁獲所属船籍・船名)

大手食品企業C

「…原料となるカツオの多くは、太平洋の赤道付近で獲れたもの。現在この海域のカツオ資源量は豊富で安定した状況を保っていますが、いつまでも安心して(製品を)味わっていただくために、カツオ資源の利用状況と、それを育む環境を注視し続けていくことが大切だと考えています。」

→2009年4月、(独)水産総合研究センター 遠洋水産研究所とともに、西日本太平洋沿岸のカツオ資源調査を開始



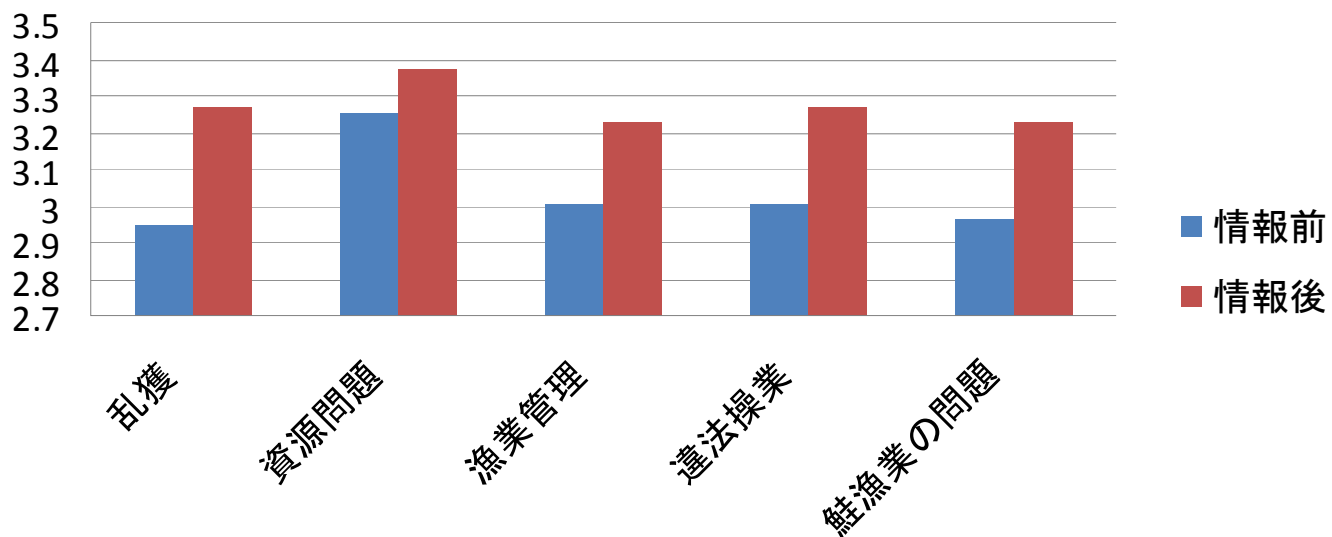


地球の生命力を
高めよう 2010

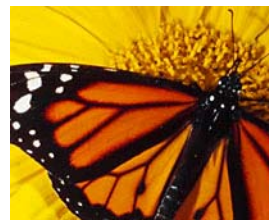


日本の消費者の動向 (WWFの調査・研究より)

漁業への興味



WWFジャパン:「日本の水産物市場におけるシーフードエコラベルの潜在需要分析」(若松宏樹他)





地球の生命力を
高めよう 2010

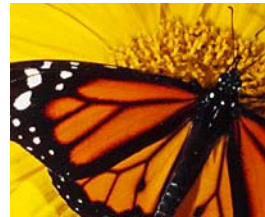


まとめ

日本の消費者に期待する「マグロを巡る問題」解決への貢献

- ✓適切な資源管理がされていて、トレーサビリティがしっかりしているマグロを選んで下さい。
- ✓「このマグロは何マグロ？どこで誰がどうやって獲ったの？」と聞いてみましょう
- ✓持続可能なマグロ調達を目指している企業を探してみてください。
- ✓「持続可能なマグロ」への関心を持って下さい。

“Knowledge itself is power.”
- Francis Bacon-





地球の生命力を
高めよう 2010



ご静聴ありがとうございました

